

P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	病院局
担当課	経営課
課長名	春日

事業名	総合周産期母子医療センターの運営・小児救急センターの運営					施策番号 I - 1 - (1) - ②	
	事業概要 【総合周産期母子医療センター(市立医療センター内)】 ・出生前から出産後まで母子に対する専門的な医療を24時間体制で提供します。 【小児救急センター(市立八幡病院に併設)】 ・1次(初療)から3次(重篤)までの救急医療を24時間体制で提供します。					事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他	
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考) 総合周産期母子医療センター及び小児救急センターの運営費及び医療器械購入費等を記載しています。	人件費	目安の金額	課長	人
	2,308,603 千円	2,522,039 千円			1,675,528 千円	係長	人
						職員	人
(人件費備考) 総合周産期母子医療センター及び小児救急センターの医師・看護師・医療技術員等の人件費を記載しています。							

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	【総合周産期母子医療センター(市立医療センター内)】 ・出生前から出産後まで母子に対する専門的な医療の提供のため24時間体制を確保します。 【小児救急センター(市立八幡病院に併設)】 ・1次(初療)から3次(重篤)までの小児救急医療の提供のため24時間体制を確保します。	成果実績	総合周産期母子医療センターでは、24時間体制での医療提供、ハイリスク分娩患者の優先的な受入を行うことができました。また、小児救急センターでは、24時間体制での小児救急医療の提供を行うことができました。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	総合周産期母子医療センターにおける医療体制(24時間体制)の確保・充実	運営体制を確保できませんでした	運営体制の確保・充実	運営体制を確保・充実できました	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	市内の周産期医療の中核を担っており、周産期医療を高い水準で提供していくために必要と考えます。 (最終目標と目標年度) 医療体制の確保・充実 平成26年度				順調		
	小児救急センターの医療体制(1次(初療)から3次(重篤)までの小児救急医療の24時間体制)の確保・充実	運営体制を確保できませんでした	運営体制の確保・充実	運営体制を確保・充実できました	やや遅れ	順調	
市内の小児救急医療の中核を担っており、小児救急医療を高い水準で提供していくために必要と考えます。 (最終目標と目標年度) 医療体制の確保・充実 平成26年度				遅れ			

活動計画	【総合周産期母子医療センター】 北九州市では、分娩を行う病院の減少に対応するため、産科連携体制を整備しています。このうち、市立医療センターでは、ハイリスク分娩等を受け入れるために総合周産期母子医療センターを設置しており、このセンターでの周産期医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。 【小児救急センター】 北九州市では、市内の小児科標榜医療機関との連携を図り、小児救急医療体制を整備しています。このうち、市立八幡病院では、同体制の中心となる小児救急センターを設置しており、このセンターでの小児救急医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。	活動実績	下記活動指標のとおり、市立医療センター、市立八幡病院ともに、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新を行いました。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	必要な医師の確保や必要な医療器械の更新など(市立医療センター)	運営体制を確保できませんでした	運営体制の確保・充実	運営体制を確保・充実できました	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	総合周産期母子医療センターにおける周産期医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。				順調	
	必要な医師の確保や必要な医療器械の更新など(市立八幡病院)	運営体制を確保できませんでした	運営体制の確保・充実	運営体制を確保・充実できました	やや遅れ	順調
小児救急センターにおける小児救急医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。				遅れ		

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	成果や活動の状況については、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行ったことで、総合周産期母子医療センターにおいては24時間体制での周産期医療の提供、小児救急センターにおいては24時間体制での小児救急医療の提供を行うことができたため、順調としています。 市立病院では、公立病院の果たすべき役割を踏まえ、民間病院では採算性の確保が困難な政策的医療として周産期及び小児救急医療を24時間体制で提供しています。
-----------	---	--

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	病院局
担当課	経営課
課長名	春日

事業名	総合周産期母子医療センターの運営・小児救急センターの運営				II - 1 - (2) - ①	
	事業概要 【総合周産期母子医療センター(市立医療センター内)】 ・出生前から出産後まで母子に対する専門的な医療を24時間体制で提供します。 【小児救急センター(市立八幡病院に併設)】 ・1次(初療)から3次(重篤)までの救急医療を24時間体制で提供します。				事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他	
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考) 総合周産期母子医療センター及び小児救急センターの運営費及び医療器械購入費等を記載しています。	人件費	目安の金額	課長 人
	2,308,603 千円	2,522,039 千円			1,675,528 千円	係長 人 職員 人

【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	【総合周産期母子医療センター(市立医療センター内)】 ・出生前から出産後まで母子に対する専門的な医療の提供のため24時間体制を確保します。 【小児救急センター(市立八幡病院に併設)】 ・1次(初療)から3次(重篤)までの小児救急医療の提供のため24時間体制を確保します。	成果実績 総合周産期母子医療センターでは、24時間体制での医療提供、ハイリスク分娩患者の優先的な受入を行うことができました。また、小児救急センターでは、24時間体制での小児救急医療の提供を行うことができました。
----	--	--

代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
		総合周産期母子医療センターにおける医療体制(24時間体制)の確保・充実 市内の周産期医療の中核を担っており、周産期医療を高い水準で提供していくために必要と考えます。 (最終目標と目標年度) 医療体制の確保・充実 平成26年度	運営体制を確保できました	運営体制の確保・充実	運営体制を確保・充実できました	大変順調
小児救急センターの医療体制(1次(初療)から3次(重篤)までの小児救急医療の24時間体制)の確保・充実 市内の小児救急医療の中核を担っており、小児救急医療を高い水準で提供していくために必要と考えます。 (最終目標と目標年度) 医療体制の確保・充実 平成26年度		運営体制を確保できました	運営体制の確保・充実	運営体制を確保・充実できました	やや遅れ 遅れ	順調

活動計画	【総合周産期母子医療センター】 北九州市では、分娩を行う病院の減少に対応するため、産科連携体制を整備しています。このうち、市立医療センターでは、ハイリスク分娩等を受け入れるために総合周産期母子医療センターを設置しており、このセンターでの周産期医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。 【小児救急センター】 北九州市では、市内の小児科標榜医療機関との連携を図り、小児救急医療体制を整備しています。このうち、市立八幡病院では、同体制の中心となる小児救急センターを設置しており、このセンターでの小児救急医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。	活動実績 下記活動指標のとおり、市立医療センター、市立八幡病院ともに、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新を行いました。
------	---	--

活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
		必要な医師の確保や必要な医療器械の更新など(市立医療センター) 総合周産期母子医療センターにおける周産期医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。	運営体制を確保できました	運営体制の確保・充実	運営体制を確保・充実できました	大変順調
必要な医師の確保や必要な医療器械の更新など(市立八幡病院) 小児救急センターにおける小児救急医療の提供のため、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行います。		運営体制を確保できました	運営体制の確保・充実	運営体制を確保・充実できました	やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	成果や活動の状況については、必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行ったことで、総合周産期母子医療センターにおいては24時間体制での周産期医療の提供、小児救急センターにおいては24時間体制での小児救急医療の提供を行うことができたため、順調としています。 市立病院では、公立病院の果たすべき役割を踏まえ、民間病院では採算性の確保が困難な政策的医療として周産期及び小児救急医療を24時間体制で提供しています。
-----------	---	--

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)